特別プログラム

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　10月29日（木）　メインホール

会長講演

10:00〜11:00　精神科医療を取り巻く環境の変化

座長：佐野　英孝（医療法人社団敬成会 白根緑ヶ丘病院 理事長・院長）
演者：山崎（やまざき）　學（まなぶ）（公益社団法人日本精神科病院協会 会長）

特別講演

11:10〜12:10　精神保健医療福祉施策の動向

座長：平川　淳一（医療法人社団光生会 平川病院 病院長）
演者：海老名英治（えびなえいじ）（厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長）

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　10月29日（木）　第１会場（メインホールA）

特別招待講演

13:30〜14:30　生活にいかす禅

座長：谷野亮一郎（医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 理事長・院長）
演者：枡野（ますの）　俊明（しゅんみょう）（曹洞宗徳雄山建功寺 住職）

教育講演１

14:40〜15:40　ニューロモデュレーション治療の最前線〜rTMS・tDCS・taVNSの現状と将来の展望〜

座長：金子　尚史（医療法人恵生会 南浜病院 院長）
演者：朴（ぼく）　秀賢（しゅうけん）（新潟大学 大学院医歯保健学研究科 精神医学分野 教授）

教育講演２

15:50〜16:50　地域で生きることを支える精神科医療へ
―入院患者数の変化が問いかける精神科 病院の未来―

座長：坂本　隆行（医療法人社団三交会 三交病院 理事長・院長）
演者：染矢（そめや）　俊幸（としゆき）（新潟大学 学長）

特別プログラム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第１会場（メインホールA）

教育講演３

10:00〜11:00　精神科外来における認知症の診断後支援

座長：宮本　　忍（医療法人白日会 黒川病院 院長）
演者：繁田（しげた）　雅弘（まさひろ）（栄樹庵診療所 院長）

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第７会場（中会議室302A）

教育講演４

10:00〜11:00　依存症を再定義する〜レジリエンスと心的外傷後成長、負債が資産に変わるとき〜

座長：北村　秀明（医療法人水明会 佐潟公園病院 院長）
演者：佐久間寛之（さくまひろし）（独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター 院長）

教育講演５

11:10〜12:10　児童期・思春期の精神科医療

座長：遠藤　謙二（医療法人友愛会 千曲荘病院 院長）
演者：本田（ほんだ）　秀夫（ひでお）（信州大学医学部 子どものこころの発達医学教室 教授／信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部／長野県発達障がい情報・支援センター「といろ」）

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　10月29日（木）　第２会場（メインホールB）

シンポジウム１

14:40〜16:10　改定が描く精神科病院の“未来予想図”

座長：大村　重成（医療法人緑心会 福岡保養院 理事長・院長）
澤　　滋（社会医療法人北斗会 さわ病院 理事長・院長）

SY1-1　AIが変える精神科医療―キーボードを手放して、新たな働き方を手に入れよう
小林（こばやし）　和人（かずと）
医療法人山容会 山容病院 理事長・院長

SY1-2　「みなさん、デプロイしてますか⁉」―つくるという第三の選択―
井上（いのうえ）　秀之（ひでゆき）
医療法人むつみホスピタル 理事長

SY1-3　AIと制度が可能にする新しい病院モデル
加藤（かとう）　浩晃（ひろあき）
デジタルハリウッド大学大学院 特任教授／東京科学大学 臨床教授／アイリス株式会社

シンポジウム３

16:20〜17:50　精神科病院における医療事故の防止について

座長：相澤　明憲（社会医療法人佐藤会 弓削病院 院長）
横山　　桂（医療法人 緑心会 横山記念病院 理事長・院長）

SY3-1　精神科病院における医療事故防止の基本姿勢
高階（たかしな）　憲之（のりゆき）
特定医療法人松涛会 南浜中央病院 理事長・院長

SY3-2　行動制限と医療事故〜身体的拘束を中心に〜
岩下（いわした）　覚（さとる）
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院 理事長

SY3-3　当院における精神科医療安全の現状と看護の視点から考える今後の課題
黒崎（くろさき）　純（じゅん）
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 副総師長 兼病棟師長

SY3-4　医療事故のリスクについて事前説明とカルテ記載
恒川（つねかわ）　直久（なおひさ）
恒川・吉田法律事務所 弁護士

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　10月29日（木）　第３会場（国際会議室）

シンポジウム２

14:40〜16:10　日精協の会員病院におけるDPAT体制整備の意義

座長：中島　公博（医療法人社団 五稜会病院 理事長・院長）
　　深澤　　隆（医療法人財団青仁会 青南病院 病院長）

SY2-1　災害拠点精神科病院に求められる役割と平時の備え
小原（おはら）　尚利（なおとし）
医療法人清陵会 南ヶ丘病院 院長

SY2-2　精神科病院におけるDPAT整備の意義と受援体制の構築 ―過去の教訓から未来のレジリエンスを考える―
五明佐也香（ごめいさやか）
獨協医科大学埼玉医療センター 救急医療科 講師／厚生労働省委託事業DPAT事務局 次長

SY2-3　精神科医療機関がDPATの活動を学び、携わることの意義
石丸（いしまる）　正吾（しょうご）
医療法人杏仁会 神野病院 理事長・院長

SY2-4　日精協支部とDPAT
内藤（ないとう）　暢茂（のぶしげ）
社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 院長

シンポジウム４

16:20〜17:50　多様な人材の活躍が創る地域共生社会の実現

座長：岡　　松彦（医療法人啓生会 啓生会病院 理事長・院長）
　　山田　幸樹（特定医療法人社団薫風会 山田病院 院長）

SY4-1　当法人における外国人人材について
冨松健太郎（とみまつけんたろう）
医療法人冨松記念会 三池病院 副院長

SY4-2　多様な人材の活躍が創る地域共生社会の実現〜都城新生病院における人材確保、離職防止の取り組みについて〜
瓦田（かわらだ）　直久（なおひさ）
医療法人一誠会 都城新生病院 事務長

SY4-3　精神科病院における精神障害者雇用の試み ―地域共生社会の実現を目指して―
向笠（むかさ）　浩貴（ひろたか）
医療法人向心会 大貞病院 理事長・院長

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　10月29日（木）　第 4 会場（中会議室301B）

シンポジウム 5

16:20〜17:50　**精神保健福祉法改正についての振り返り**

座長：櫻木　章司（医療法人桜樹会 桜木病院 理事長）
永田　雅子（医療法人慈和会 大口病院 理事長）

SY5-1　「精神科病院における入退院支援等の実態把握及び課題についての研究」を基に、精神保健福祉法改正を振り返る
川口真知子（かわぐちまちこ）
公益財団法人 井之頭病院 連携相談センター長

SY5-2　令和 4 年精神保健福祉法改正について
海老名英治（えびなえいじ）
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長

SY5-3　精神保健福祉法改正を振り返って
加藤　花恵（かとう　はなえ）
新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部（新潟県南魚沼保健所）地域保健課 課長代理

SY5-4　精神障害者の家族の立場から
池野　宏子（いけの　ひろこ）
特定非営利活動法人新潟県精神障害者家族会連合会 副理事長

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第１会場（メインホールA）

シンポジウム11

13:30〜15:00　精神科における栄養管理の重要性

座長：内藤　暢茂（社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 院長）
佐野　滋彦（金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学 講師、摂食障害支援センター長）

SY11-1　精神科領域における管理栄養士のミッションとは
石岡（いしおか）　拓得（たくえ）
一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院 栄養科科長 管理栄養士

SY11-2　入院時の栄養評価と管理栄養士の役割
庭野弥栄子（にわのやえこ）
医療法人社団敬成会 白根緑ヶ丘病院 栄養課 主任 管理栄養士

SY11-3　精神科領域における低栄養患者への支援 多職種連携の実践と課題
渋谷（しぶや）　道代（みちよ）
社会医療法人崇徳会 田宮病院 栄養管理室室長 管理栄養士

SY11-4　精神科領域における管理栄養士の役割：過栄養患者支援と１名体制の課題
小嶋（こじま）　萌（めぐみ）
医療法人恵生会 南浜病院 栄養科 管理栄養士

SY11-5　精神科領域における管理栄養士の卒後教育とスキルアップ
福吉（ふくよし）　大輔（だいすけ）
医療法人全隆会 指宿竹元病院 栄養部課長 管理栄養士／一般社団法人全国精神科栄養士協会

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第２会場（メインホールB）

シンポジウム12

13:30〜15:00　今必要な精神科病院のブランディング戦略

座長：浅井　禎之（医療法人社団静和会 浅井病院 理事長）
山西　敏之（医療法人山西会 宝塚三田病院 理事長）

SY12-1　シンポジウム12
丸山（まるやま）　直樹（なおき）
社会医療法人崇徳会 田宮病院 病院長

SY12-2　病院ブランディングにおける『継続』という挑戦 ―空間と色彩を共有する試みの中で、6色が体現する個の熱意と組織の課題―
杉山（すぎやま）　典央（のりお）
独立行政法人 国立病院機構さいがた医療センター 庶務班長

SY12-3　明るい精神科を目指して～旭川圭泉会病院の取り組み～
丸山（まるやま）　利弥（としや）
医療法人社団圭泉会 旭川圭泉会病院 臨床心理部 部長

SY12-4　慈圭病院のブランディング戦略
武田（たけだ）　俊彦（としひこ）
公益財団法人慈圭会 慈圭病院 院長

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第４会場（中会議室301B）

シンポジウム６

9：00～10：30　周産期におけるメンタルヘルスケア

座長：福井　直樹（医療法人青松会 松浜病院 精神科 副院長／新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野）
村上　　寛（信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 講師）

SY6-1　総合周産期母子医療センターを有する病院に精神科救急・合併症病棟がある事のメリット―当科での経験から考えること―
野原（のはら）　茂（しげる）
富山県立中央病院 精神科部長

SY6-2　村上・岩船地域における妊産婦メンタルヘルス対策の取組について
狩野（かのう）　雅暉（まさき）
新潟県村上保健所 保健師

SY6-3　産後ケア事業の現場から考える周産期メンタルヘルス支援 ―助産師としての気づき―
更科（さらしな）　佳子（よしこ）
みちつき助産院 助産師

SY6-4　周産期メンタルヘルスに関する長野県内における取り組み
村上（むらかみ）　寛（ひろし）
信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 講師

シンポジウム８

10：40～12：10　精神科領域における虐待をめぐる現状と課題 ― 多職種・多機関の視点から ―

座長：中島　公博（医療法人社団 五稜会病院 理事長・院長）
須貝　拓朗（医療法人責善会 村上はまなす病院 院長）

SY8-1　精神科領域における虐待の防止 ―政令指定都市の立場から―
福島（ふくしま）　昇（のぼる）
新潟市こころの健康センター 所長

SY8-2　精神科病院における虐待防止規定の法的意義
黒岩（くろいわ）　海映（みはえ）
南魚沼法律事務所 弁護士

SY8-3　医療機関内での虐待予防と早期発見の取り組み―業務従事者の心理的安全性を高める組織をつくるために―
草地（くさち）　仁史（ひとし）
一般社団法人日本精神科看護協会 政策企画局長

SY8-4　倫理カンファレンスは虐待防止の一助となるか ―日常実践にどう活かすか―

中島（なかじま）　公博（きみひろ）
医療法人社団 五稜会病院 理事長・院長

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第５会場（中会議室301A）

シンポジウム７

9：00～10：30　医療DXしゃべり場

座長：森　　隆夫（医療法人愛精会 あいせい紀年病院 理事長）
谷野亮一郎（医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 理事長・院長）

SY7-1　これからの電子カルテ
森（もり）　隆夫（たかお）
医療法人愛精会あいせい紀年病院 理事長

SY7-2　オンライン精神療法の指針と課題
長尾喜一郎（ながおきいちろう）
医療法人長尾会 ねや川サナトリウム 理事長

SY7-3　サイバーセキュリティについて
若村（わかむら）　友行（ともゆき）
一般社団法人医療サイバーセキュリティ協議会 理事

SY7-4　精神科病院DXはどこから始めるか：職員の困りごとを起点に、患者理解を地域の支援力へつなぐ可能性を考える
高山（たかやま）　英也（ひでや）
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 医師 法人医療DX担当

シンポジウム９

10：40～12：10　高齢精神障害者の適性病棟・施設を考える

座長：渕野　勝弘（医療法人淵野会 緑ヶ丘保養園 理事長）
千葉　泰二（特定医療法人社団千寿会 三愛病院 理事長・院長）

SY9-1　精神療養病棟から認知症治療病棟への転換～将来の介護医療院への転換も視野に～
古川（ふるかわ）　美盛（よしもり）
医療法人勉仁会 中垣病院 院長

SY9-2　15：１の出来高病棟で高齢者を診る課題と問題点
澤田（さわだ）　親男（ちかお）
医療法人三幸会 北山病院 院長

SY9-3　高齢精神障害者（認知症含む）の終末期治療
高森（たかもり）　薫生（いさお）
特定医療法人高森会 阿蘇やまなみ病院 理事長・院長

SY9-4　精神病床から介護医療院への転換
武田（たけだ）　滋利（しげとし）
医療法人大和会 西毛病院 理事長

SY9-5　削減した病床を介護医療院・有料老人ホームに転用

渕野（ふちの）　勝弘（かつひろ）
医療法人淵野会 緑ヶ丘保養園 理事長

シンポジウム

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）　第６会場（中会議室302B）

シンポジウム10

10:40〜12:10　これからの小規模精神科病院（200床未満）運営について

座長：武田龍太郎（医療法人社団慶神会 武田病院 理事長・院長）
高柳陽一郎（医療法人社団四方会 有沢橋病院 院長）

SY10-1　小規模での適者生存モデル ―過疎・豪雪地での35年の実践から見える未来像―
渋谷（しぶや）　磯夫（いそお）
医療法人敬愛会 尾花沢病院 理事長・院長

SY10-2　小規模精神科病院の持続可能性について考える―禍い転じて福となる（せ）―
堀川（ほりかわ）　公平（こうへい）
医療法人コミュノテ 風と虹 のぞえ総合心療病院 理事長・院長

SY10-3　デイケアを中心とした包括的地域精神科医療の現状と今後
高 柳 陽一郎（たかやなぎよういちろう）
医療法人社団 四方会 有沢橋病院 院長

SY10-4　小規模精神科病院の経営実務―事務部門からつくる組織の好循環―
吉田（よしだ）　隆志（たかし）
医療法人 明心会 柴田病院 事務長

機構専門医共通講習・感染対策講習

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　10月29日（木）　第 9 会場（中会議室201A）

◆機構専門医共通講習 1 （感染対策）

13:30〜14:30　全職員が感染対策への確実な意識・技術を身につける

座長：橘　　輝（医療法人敬愛会 末広橋病院 院長）

精神科病棟における感染対策

演者：中澤（なかざわ）　靖（やすし）（東京慈恵会医科大学附属病院感染対策部 部長・教授）

第15回日本精神科医学会学術大会

第 2 日目　10月30日（金）　第 9 会場（中会議室201A）

機構専門医共通講習 2 （医療倫理）

9 :00〜10:00　精神科における倫理問題の事例について検討する

座長：田中　　弘（特定医療法人楽山会 三島病院 理事長）

精神科における倫理問題の事例検討―意思決定能力評価と意思決定支援を中心に

演者：成本（なるもと）　迅（じん）（京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学 教授）

機構専門医共通講習 3 （医療安全）

10:10〜11:10　患者の安全を確保するセンスメーキング

座長：荒川　太郎（医療法人至誠会 長岡保養園 理事長）

演者：相馬（そうま）　孝博（たかひろ）（群馬大学大学院医学系研究科 客員教授）

機構専門医共通講習・感染対策講習

第15回日本精神科医学会学術大会

第 2 日目　10月30日（金）　第 8 会場（中会議室201B）

感染対策講習

10:10〜11:10　精神科における感染対策の連携と展望

座長：糠信　憲明（一般社団法人精神科領域の感染制御を考える会 代表理事）

精神科病院における感染対策の連携と展望〜地域連携と感染対策効果の可視化〜

演者：森田（もりた）　亮一（りょういち）（兵庫県立ひょうごこころの医療センター 感染管理認定看護師）

それぞれの役割から始める感染対策―人の移動を見据えた地域連携と薬剤耐性（AMR）対策―

演者：樋口（ひぐち）　俊恵（としえ）（岡山赤十字病院 総合内科／さきがけホスピタル 非常勤内科医師／岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学）

共催セミナー

第15回日本精神科医学会学術大会

前日　10月28日（水）

◆イブニングセミナー　　ホテル日航新潟（4階　朱鷺）18：00〜19：00

『ADHDと併存症』〜みたてと治療〜

座長：阿部　　亮（医療法人社団明生会 関病院 院長）

演者：岡田　　俊（公立大学法人奈良県立医科大学 精神医学講座 教授）

共催：共和薬品工業株式会社

第15回日本精神科医学会学術大会

第1日目　10月29日（木）

◆ランチョンセミナー1　　第3会場（国際会議室）12：20〜13：20

座長：朴　　秀賢（新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野 教授）

講演Ⅰ：精神医療の施策推進の方向性について

演者：長瀬　幸弘（医療法人社団東京愛成会 高月病院 院長）

講演Ⅱ：統合失調症治療をどうやるべきか

演者：藤田　　潔（医療法人静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター 理事長）

共催：大塚製薬株式会社

◆ランチョンセミナー2　　第4会場（中会議室301B）12：20〜13：20

実臨床における不眠症治療薬の使い分け〜オレキシン受容体拮抗薬を中心に〜

座長：中島　公博（日本精神科病院協会 常務理事／五稜会病院 理事長・院長）

演者：藤田　康孝（医療法人社団更生会 こころのホスピタル草津 院長）

共催：エーザイ株式会社

◆ランチョンセミナー3　　第5会場（中会議室301A）12：20〜13：20

rTMS療法の導入で広がるうつ病の治療戦略

座長：鬼頭　伸輔（東京慈恵会医科大学　精神医学講座　主任教授）

演者：天野　雄平（医療法人杏野会　各務原病院　院長）

海野　　順（医療法人社団光風会　三光病院　院長）

共催：センチュリーメディカル株式会社

◆ランチョンセミナー４　　第６会場（中会議室302B）12：20～13：20

LAIによる統合失調症治療について

座長：大村　重成（医療法人緑心会 福岡保養院 院長）
演者：小林　和人（医療法人山容会 山容病院 理事長）
　　竹内　一平（医療法人静心会 桶狭間病院藤田こころケアセンター 薬局 主任）
共催：住友ファーマ株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

◆ランチョンセミナー５　　第７会場（中会議室302A）12：20～13：20

児童思春期・若年成人に見られる睡眠障害の理解と支援

座長：鈴木雄太郎（医療法人敬愛会 末広橋病院 理事長／新潟駅前ストレスケアクリニック 院長／新潟大学医歯学総合病院 精神科 非常勤講師）
演者：荒井　勇輔（公益財団法人 倉石地域復興財団 栗田病院 精神科 診療部長）
共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

◆ランチョンセミナー６　　第８会場（中会議室201B）12：20～13：20

座長：渕野　勝弘（医療法人社団淵野会 緑ヶ丘保養園　理事長）

早期アルツハイマー病への気づき ―精神症状を手がかりとした軽度認知障害（MCI）の拾い上げ―
演者：小林　良太（藤田医科大学 医学部 認知症・加齢脳科学科　教授）

抗アミロイドβ 抗体薬時代の認知症地域連携 ―精神科病院の役割と八戸地域の実践―
演者：深澤　　隆（医療法人青仁会 青南病院　院長）
共催：日本イーライリリー株式会社

◆ランチョンセミナー７　　第９会場（中会議室201A）12：20～13：20

女性ホルモンとメンタルヘルスの関連について　～ズラノロンの話題を含めて～

座長：徳永雄一郎（医療法人社団 新光会 不知火病院　理事長）
演者：大坪　天平（医療法人髙仁会 戸田病院　院長）
共催：塩野義製薬株式会社

第15回日本精神科医学会学術大会

第２日目　10月30日（金）

◆ランチョンセミナー８　　第２会場（メインホールB）12：20～13：20

早期認知症への対応における精神科医の役割

座長：渕野　勝弘（医療法人社団淵野会 緑ヶ丘保養園 理事長／公益社団法人日本精神科病院協会 常務理事）
演者：三村　　將（慶應義塾大学予防医療センター 特任教授）
共催：エーザイ株式会社・バイオジェン・ジャパン株式会社

◆ランチョンセミナー９　　第４会場（中会議室301B）12：20〜13：20

うつ病のunmet needsに応えるために 〜MBCの役割とボルチオキセチンの可能性〜

座長：坂本　隆行（医療法人三交会 三交病院 院長）

演者：阿部　恭久（医療法人山田会 八代更生病院 院長）

共催：武田薬品工業株式会社・ルンドベック・ジャパン株式会社

◆ランチョンセミナー10　　第５会場（中会議室301A）12：20〜13：20

睡眠は精神疾患を変えられるか ―脳のレジリエンスを支える睡眠科学―

座長：佐野　英孝（白根緑ヶ丘病院 理事長・院長）

演者：朴　　秀賢（新潟大学大学院医歯保健学研究科 精神医学分野 教授）

共催：第一三共株式会社

◆ランチョンセミナー11　　第６会場（中会議室302B）12：20〜13：20

統合失調症の個別化治療と周産期について

座長：谷野亮一郎（医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 院長）

演者：深澤　　隆（医療法人青仁会 青南病院 病院長）

坂井　喜郎（医療法人厚仁会秦野厚生病院 病院長）

共催：住友ファーマ株式会社

◆ランチョンセミナー12　　第７会場（中会議室302A）12：20〜13：20

全般不安症の病態と治療 ―なぜSNRIなのかを理解するために―

座長：江川　　純（新潟大学大学院医歯保健学研究科 精神医学分野 准教授）

演者：松﨑　朝樹（筑波大学医学医療系精神医学 講師）

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

◆ランチョンセミナー13　　第８会場（中会議室201B）12：20〜13：20

地域とともに歩むrTMS療法

座長：金子　尚史（医療法人恵生会 南浜病院 院長）

rTMSがもたらす地域における精神科病院の新たな立ち位置

演者：横川　信弘（社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 副院長）

当院におけるrTMS療法データからの考察 〜３年半100症例〜

演者：神尾　　聡（公益社団法人前橋積善会 厩橋病院 代表理事 院長）

共催：帝人ファーマ株式会社

プログラム

スライド発表

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 2 会場（2F メインホールB）

スライド発表 1

13:30〜14:30　チーム医療

座長：岩﨑　真三（医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院 病院長）

S01-1　患者を交えたカンファレンスをする有効性
○横山（よこやま）　真菜（まな）
医療法人白日会 黒川病院

S01-2　精神科病棟における複合的褥瘡予防介入が院内褥瘡発生状況に与える影響―発生低減と再増加からみえた運用定着の課題―
○石田美喜子（いしだみきこ）
医療法人 三交会 三交病院

S01-3　BPSモデルを用いた訪問看護による一貫した関わりが長期引きこもり統合失調症の変化につながった一事例
○太刀川康知（たちかわやすとも）
社会医療法人 崇徳会 田宮病院 地域支援事業部 地域生活支援室

S01-4　rTMS治療における客観的改善と主観的改善の乖離を規定する心理学的要因の探索
○山田（やまだ）　威仁（たけひと）、高橋　彩果、野島　夏織、山上　　悠
慈藻会 平松記念病院

S01-5　単科精神科病院における感染対策向上加算 2 取得に向けた取り組み～感染管理認定看護師を中心とした感染管理体制の整備～
○尾上美友貴（おのうえみゆき）、栗原　康雄
社会医療法人 居仁会 総合心療センターひなが

S01-6　高齢精神疾患患者の褥瘡発生時における亜鉛評価導入の取り組み
○山前（やまえ）　有子（ゆうこ）、小坂由夏子、中村　菜摘、堂下　　隆、橋本ちかげ
医療法人 明仁会 かないわ病院

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 3 会場（4F 国際会議室）

スライド発表 2

13:30〜14:30　精神科救急・急性期医療

座長：澁谷　雅子（医療法人恵生会 南浜病院 理事長）

S02-1　精神科看護師の臨床判断に関する探索的研究不穏・興奮場面における重視情報と精神科経験年数の関連

○石附（いしずき）　正光（まさみつ）、鈴木　正明

医療法人社団 敬成会 白根緑ヶ丘病院

S02-2　隔離室ケア向上に向けた教育介入の検討

○麻生（あそう）　真未（まみ）、前田　幸代、浅川　佳則

医療法人 長尾会 ねや川サナトリウム

S02-3　当院のゲーム・ネット依存グループに求められるもの―14年の変遷から今後の有り方について―

○藤田（ふじた）　照海（てるみ）、森　　智秀、川野　　豊、堀川　公平

医療法人コミュノテ風と虹 のぞえ総合心療病院

S02-4　常時対応型医療施設における完全予約制撤廃の試み：精神科即応センター開設による初期運用の現状と臨床的意義

○吉見（よしみ）　聖伸（まさのぶ）、佐藤　　誠、笹目　裕夢、高名　梨沙、山下　景子、永富なみ子、片山　成仁

医療法人社団 成仁病院

S02-5　反復性躁病エピソード患者への行動的アプローチ

○酒井（さかい）　絵美（えみ）

桶狭間病院藤田こころケアセンター

S02-6　患者主体の退院支援〜精神科救急病棟に勤務する精神保健福祉士の葛藤〜

○山田（やまだ）　浩生（こうせい）

刈谷病院 医療社会事業科

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 4 会場（3F 301B）

スライド発表 3

13:30〜14:30　精神科慢性期医療、看護師・介護士業務①、その他

座長：鶴岡　義明（医療法人白百合会 大多喜病院 理事長・院長）

S03-1　当院の精神療養病棟の今後を考える
○田崎（たさき）　紳一（しんいち）
医療法人至誠会長岡保養園

S03-2　精神科ストレスケア病棟における治療環境の構造化―オリエンテーションの標準化、対応傾向の可視化、チーム対応による実践研究―
○吉野（よしの）　光（ひかり）、楠　高志
医療法人純和会 矢作川病院

S03-3　慢性期精神科病棟におけるトロミ調整食品使用量の検討
○加行富久代（かぎょうふくよ）[1]、海江田真妃[1]、川村　道子[2]
医療法人 真愛会 高宮病院 5 病棟[1]、宮崎県立看護大学[2]

S03-4　精神科病棟におけるスタッフ間のポジティブフィードバックが心理的安全性に与える影響
○布澤（ふざわ）　太朗（たろう）
医療法人越南会 五日町病院

S03-5　認知症治療病棟における個別対応表を用いたカンフォータブルケアの試み
○大塚（おおつか）　和幸（かずゆき）、竹内　茉弥
医療法人越南会 五日町病院

S03-6　認知行動療法の視点を取り入れた虐待予防研修会の効果の検討
○野澤（のざわ）　龍（りゅう）[1]、櫻井　信人[2]、石田　茜[1]、根岸　愛美[1]、池田　美奈[1]
医療法人社団三交会 三交病院[1]、関西国際大学 保健医療学部[2]

スライド発表 8

14:40〜15:40　認知症・高齢者医療①

座長：三舩　義博（医療法人社団三愛会 三船病院 院長）

S08-1　抗Aβ抗体治療の継続を支える要因の検討―長期フォローアップを通じた一症例―
○澤田（さわだ）　翔（しょう）、松岡　友子
医療法人康誠会 東員病院

S08-2　嗜銀顆粒性認知症と考えた15症例の迂回回の限局性萎縮をVSRADでの診断の試み
○小林（こばやし）　克治（かつじ）、浦田　克己、川尻　良太、秋山　典子、杉盛　千春
医療法人社団澄鈴会 粟津神経サナトリウム

S08-3　脳の変化を可視化したアセスメント再構成によるアルツハイマー型認知症ケアの改善

○大塚（おおつか）　恒子（つねこ）[1]、瀧野　鮎子[2]

一般財団法仁明会 精神衛生研究所[1]、一般財団法人仁明会 仁明会病院[2]

S08-4　認知症初期集中支援介入時評価におけるDBDと在宅生活継続要因に関する研究

○小原（おばら）　大地（だいち）

特定医療法人社団千寿会三愛病院 認知症初期集中支援チーム

S08-5　福井県嶺南認知症疾患医療センターにおける直近 6 か月間の状況～啓発が早期受診に繋がったか、鑑別診断時の自動車運転の現状～

○寺川（てらかわ）　智浩（ともひろ）、成迫　尚乃、玉井　　顯

医療法人敦賀温泉病院 認知症疾患医療センター

S08-6　レビー小体型認知症患者に対する安心感を重視した関わりが信頼形成及びBPSDに与えた影響

○吉田（よしだ）　暁美（あけみ）、富山　　彩、佐藤奈緒子

医療法人社団 敬成会 白根緑ヶ丘病院

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 5 会場（3F 301A）

スライド発表 4

13:30〜14:30　看護師・介護士業務②

座長：羽田　誠之（医療法人白日会 黒川病院 看護師長）

S04-1　精神科病院における治験に対する看護職の意識調査を基に職場風土の構築について検討する
○阿部（あべ）　栄子（えいこ）[1]、大滝　　徹[1]、石川美代子[2]
医療法人山容会山容病院[1]、株式会社アイリサーチ[2]

S04-2　精神科看護師のストレス要因と対策〜定着する働きやすい環境を目指そう！〜
○田村（たむら）　朱里（あかり）、山本奈津子、森本　未華
河野名島病院 看護部

S04-3　転倒予防に向けた運動機能向上トレーニングの効果
○保坂美由紀（ほさかみゆき）、田村　朋裕、室岡　　薫
医療法人 常心会 川室記念病院 看護部

S04-4　精神科病院に勤務する看護師のレジリエンスの実態調査―職員の持つ内的資源・外的資源に着目して―
○木戸（きど）ゆり子（こ）、服部　朗人
医療法人青松会 松浜病院

S04-5　口腔ケアプランの導入に伴う病棟看護師の意識変化―誤嚥性肺炎を既往に持つ精神科患者に対して―
○田口（たぐち）　直人（なおと）、室谷　繁徳、後藤　知里
医療法人八誠会 もりやま総合心療病院

S04-6　精神科病棟における新人看護師教育体制づくり―病棟全体で継続した指導を行うための取り組み―
○青井由梨愛（あおいゆりあ）
桶狭間病院 藤田こころケアセンター

スライド発表 9

14:40〜15:40　認知症・高齢者医療②

座長：佐藤　智亮（医療法人社団敬成会 新潟市地域包括支援センターあじかた）

S09-1　千曲荘病院におけるユマニチュード®実践の現状と課題 医療法人友愛会千曲荘病院 市川恵 山本理恵 堀内幸子 遠藤謙二
○市川（いちかわ）　　恵（めぐみ）、山本　理恵
医療法人友愛会 千曲荘病院

S09-2 精神科病院における外来・軽装備・自院完結体制による疾患修飾療法の導入実践（1）
○田中（たなか）　晋（しん）、森田　昌宏、田中　弘
三島病院 精神科

S09-3 精神科病院における外来・軽装備・自院完結体制による疾患修飾療法の導入実践（2）―集団プログラム「つばきの会」の立ち上げ―
○田澤（たざわ）　悠里（ゆり）[1]、原　由夏[2]、田中　晋[3]、田中　弘[3]
三島病院 神経心理科[1]、三島病院 看護部[2]、三島病院 精神科[3]

S09-4 精神科病院における外来・軽装備・自院完結体制による疾患修飾療法の導入実践（3）―満足度調査（CSQ-8J）の分析から―
○和泉美和子（いずみみわこ）[1]、田澤　悠里[1]、田中　晋[2]、田中　弘[2]
三島病院 神経心理科[1]、三島病院 精神科[2]

S09-5 認知症患者の不眠に対するリハビリの取り組み
○堀川（ほりかわ）　拓志（たくし）、上國料汐里、美和　千尋
医療法人 康誠会 東員病院

S09-6 チームアプローチで紡ぐ早期退院を目指した取り組み ～精神保健福祉士の視点から～
○花谷（はなたに）　雅代（まさよ）、丸山　恭寛、佐藤由紀恵
医療法人 清心会 八尾こころのホスピタル

スライド発表14

15:50～16:50　薬物療法、TMS・ECT、その他

座長：遠藤　謙二（医療法人友愛会 千曲荘病院 理事長・院長）

S14-1 抗アミロイドβ抗体薬：レカネマブ（レケンビ）を投与中に顕著な心気・皮膚寄生虫妄想を呈した1例
○岩崎（いわさき）　真三（しんぞう）、赤松　裕子
医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

S14-2 ラポールとリスペリドンが著効した元広島県立高等女学校生徒の最晩年性広島原爆複雑性PTSDの1例
○末田（すえだ）　耕一（こういち）
日良居 病院

S14-3 中規模精神科病院におけるrTMS導入後1年の現状把握と運用上の課題
○大谷（おおたに）　鈴乃（すずの）、横山隼一郎、小林　和人
医療法人山容会山容病院

S14-4 修正型電気けいれん療法（m-ECT）施行患者における治療満足度とその関連要因の検討
○野島（のじま）　美紗（みさ）[1]、中原　龍雅[1]、藤田　康孝[2]
医療法人社団更生会こころホスピタル草津 看護部[1]、
医療法人社団更生会こころホスピタル 精神科[2]

S14-5 精神科開放病棟における看護師の意思決定支援の実態調査
○池田（いけだ）　実世（みよ）、田中　直美
医療法人財団医王会 医王ヶ丘病院 病棟

S14-6　最近２年間での曜日別入院患者数の検討
○吉元（よしもと）ひとみ、永坂　　徹
医療法人純和会 矢作川病院

スライド発表19

17:00〜18:00　**地域包括ケア、その他**

座長：立元　洋介（医療法人責善会 村上はまなす病院 精神保健福祉士）

S19-1　広島市における多職種アウトリーチ支援事業の構築と実践報告
○中村（なかむら）　耕輔（こうすけ）、松岡　龍雄、竹下　　理、野間　陽子、兼森　　希
医療法人社団 和風会 広島第一病院

S19-2　精神科地域包括ケア病棟における患者動向と関連要因の検討―再入院予防の視点からみた退院支援における課題の検討―
○坂井（さかい）　　良（りょう）
桶狭間病院藤田こころケアセンター

S19-3　外国人の精神科受診支援における現状と課題 ―AMDA国際医療情報センター相談・通訳データから―
○佐藤（さとう）　琴恵（ことえ）、小林　米幸
特定非営利活動法人 AMDA国際医療情報センター

S19-4　本人の地域生活を支えるための多職種連携について考える
○長谷（はせ）　　希（のぞみ）[1]、上田　海音[1]、稲田　美月[1]、北島　彩花[1]、佐川　彩音[3]、松田　和久[1]、
村上　　聡[2]、舟上　恵美[1]、浜守　大樹[1]、谷野亮一郎[1]
医療法人社団和敬会 生活訓練センター[1]、医療法人社団和敬会 谷野呉山病院[2]、
医療法人社団和敬会 生活支援センター[3]

S19-5　大阪精神科病院協会が行っている相互訪問
○眞城（しんじょう）　英孝（ひでたか）
楓こころのホスピタル

S19-6　新潟県における精神科病院ピアレビューの実態と効果
○橘（たちばな）　　輝（あきら）
医療法人敬愛会 末広橋病院

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 6 会場（3F 302B）

スライド発表 5

13:30〜14:30　看護師・介護士業務③

座長：藤井　　純（医療法人責善会 村上はまなす病院 看護師）

S05-1　コンチネンスケアを意識した看護部の取り組み
○野中（のなか）　英雄（ひでお）
桶狭間病院藤田こころケアセンター

S05-2　精神科病院に勤務する看護職員のワークエンゲージメントと関連要因の検討
○橋本（はしもと）　陽子（ようこ）、池上　京子、井村紗菜美
医療法人 古橋会 揖保川病院

S05-3　透析室の病棟内移設に伴う業務運用の変化と課題
○奈木（なぎ）　栄吉（えいきち）
桶狭間病院藤田こころケアセンター

S05-4　心の不調と“食欲”のつながり～精神科看護から見る支援の可能性～
○熊木（くまき）　直哉（なおや）、久保　翔太
特定医療法人社団千寿会 三愛病院 看護部

S05-5　精神科看護のアンコンシャスバイアスを考える～無意識を意識することでみえた看護ケアの発展～
○大道（おおみち）　健二（けんじ）
かないわ病院

S05-6　精神科病院及び関連施設の看護師を対象としたピアグループ「もぐらの会」の評価
○今野（こんの）まり恵（え）、藤田　雄治、徳　　祐子
薫風会 山田病院

スライド発表10

14:40〜15:40　認知症・高齢者医療③

座長：玉井　　顯（医療法人敦賀温泉病院 理事長・院長）

S10-1　チームアプローチで紡ぐ早期退院を目指した取り組み ～作業療法士の視点から～
○片岡（かたおか）　鈴桜（りお）
医療法人 清心会 八尾こころのホスピタル

S10-2　チームアプローチで紡ぐ早期退院を目指した取り組み～看護師の視点から～
○谷口（たにぐち）かおり
医療法人 清心会 八尾こころのホスピタル

S10-3 認知症高齢者のBPSDへの対応 ―快刺激を意識した個別性ケアの重要性―
○大矢（おおや） 仁美（ひとみ）、渡辺 清人
医療法人白日会 黒川病院

S10-4 パレイドリア反応と認知機能との関連―DLB患者におけるパレイドリアテストとMMSEを用いた検討―
○小川（おがわ） 拓人（ひろと）、河村 咲希、渡邉 拓未、深澤 隆
医療法人財団青仁会 青南病院

S10-5 もの忘れ外来の家族相談をとおして経験した意味性認知症の症例
○野澤（のざわ） 宏二（こうじ）[1]、大星 和美[2]、坪井 克元[2]、宮下 泰子[3]
青松会 松浜病院[1]、青松会 松浜病院 看護部[2]、青松会 松浜病院 医療相談室[3]

S10-6 認知症治療病棟における多職種による日中アクティビティ促進―生活機能維持を目的とした介入が転倒・転落事故に及ぼす影響―
○加藤（かとう） 大樹（ひろき）、赤坂 里美、深澤 隆
医療法人青仁会 青南病院

スライド発表15

15:50～16:50 作業療法①

座長：榊原 隆義（社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 作業療法士）

S15-1 当院作業療法における森林セラピーの実践
○益子（ましこ） 卓（たかし）、萩野谷真人、的場 政樹
医療法人直志会 袋田病院

S15-2 札幌トロイカ病院精神科デイケアにおける生活行為向上マネジメント実施にむけての取り組み
○三浦（みうら） 桃子（ももこ）
札幌トロイカ病院 デイケアゆうあい

S15-3 精神科デイケア廃止に伴う外来作業療法の機能変化―単施設における前後比較研究―
○小倉（おぐら） 裕俊（ひろとし）
特定医療法人社団 慈藻会 平松記念病院

S15-4 長期入院患者の地域移行を目的とした作業療法による退院支援プログラムの試み
○磐淵（いわぶち）ゆめの
特定医療法人社団 慈藻会 平松記念病院

S15-5 高齢入院患者に対する認知機能低下予防を目的とした作業療法の実践
○野尻（のじり） 成樹（まさき）
医療法人研精会 豊田西病院 リハビリテーション課

S15-6 患者のストレス軽減効果 ～病棟レクリエーションを通して～
○佐藤（さとう） 萌（もえ）、山中 彩音、松長 悠月
医療法人社団 千寿会 三愛病院

スライド発表20

17:00〜18:00　身体合併症、感染症対策

座長：金子　尚史（医療法人恵生会 南浜病院 院長）

S20-1　精神科単科病院における多職種による理学療法士の役割認識とニーズに関する調査

○福田（ふくだ）　浩巳（ひろみ）[1]、石橋　雄介[1]、高　登樹恵[1]、松田　康裕[2]
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター リハビリテーション室[1]、
地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター 医務局[2]

S20-2　イレウス発症予防に対する取り組み

○深谷（ふかや）　佳弘（よしひろ）
桶狭間病院 藤田こころケアセンター

S20-3　精神科病院における行動制限とD-dimer上昇の関連性の検討

○李（り）　智祥（ともよし）、石井　亮、矢崎　和大、中島　政美、関口　秀文
医療法人高柳会 赤城病院 精神科

S20-4　身体性症候群を伴う中等症うつ病エピソードの入院加療中にリウマチ性多発筋痛症を発症した一例

○渡邊（わたなべ）　穣（じょう）、藤森　翔也、吉村　健、稲井　徳栄、丸山　直樹
田宮病院 診療部

S20-5　当院における手指消毒液使用量の推移と看護職員の感染対策に対する意識調査

○植田（うえだ）　莉実（りみ）、松岡　雅美、竹下　理、松岡　龍雄
医療法人社団 和風会 広島第一病院

S20-6　入院導線の変更に伴うT－SPOT．TB陽性率の病棟間分布の変化

○佐藤（さとう）　雅一（まさかず）
医療法人社団 薫風会 山田病院

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　第７会場（3F 302A）

スライド発表６

13:30〜14:30　薬剤師業務、栄養士業務・NST

座長：保科　　知／小川智恵美（医療法人至誠会 長岡保養園 薬剤部長／社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 管理栄養士）

S06-1　当院における、白癬に関する意識調査
○高尾（たかお）　宣昭（のりあき）
医療法人財団医王会 医王ヶ丘病院 薬局

S06-2　クロザピンの円滑な導入のためのテンプレートを活用した薬剤師の支援
○鈴木（すずき）　智規（とものり）
公益財団法人 復康会 沼津中央病院 薬剤課

S06-3　重度嚥下障害を併発した精神疾患患者に行った摂食嚥下訓練と栄養管理
○渡邉（わたなべ）　理沙（りさ）
桶狭間病院藤田こころケアセンター

S06-4　５ヶ月後に給食委託会社が撤退!?―短期間で取り組んだ給食管理業務直営化の実際―
○石岡（いしおか）　拓得（たくえ）、葛西　亜紀、加藤　　望、吹田　沙彩、西谷　泉希、佐々木　希、葛西美柚華、工藤　慎志、水木　紀恵
弘前愛成会病院 栄養科

S06-5　精神科病棟にて高カロリー経口流動食で経口摂取が可能となった一例
○和田（わだ）　明子（あきこ）
医療法人寿鶴会 菅野病院

スライド発表11

14:40〜15:40　認知症・高齢者医療④、物質使用症／嗜癖行動症

座長：大脇　晴香（医療法人敬愛会 末広橋病院 非常勤医師）

S11-1　自宅退院支援における家族の「退院できそう」を支えるアプローチ〜退院前訪問を通じた「在宅生活への自信」を育む関わり〜
○松永（まつなが）　優那（ゆうな）
社会医療法人 崇徳会 田宮病院 地域支援事業部 地域生活支援室

S11-2　認知症患者への摂食嚥下機能訓練の効果と看護の有用性
○村上絵里奈（むらかみえりな）、渡邉秋輝姫、下野　翔平、皆川　佳子、新村由紀子、近藤八重子、北　　賢二
医療法人高仁会 川口病院 1階病棟

S11-3 ギャンブル依存症に対する当院における支援の実際
○水落（みずおち） 大輔（だいすけ）、伊部　　晶、阿部　美紀、阿部　　亮
医療法人明生会 関病院

S11-4 アルコール使用障害「バリアンス評価表」使用による看護師の意識変化と効果
○井上（いのうえ） 祐弥（ゆうや）
医療法人三交会 三交病院

S11-5 アルコール使用障害患者にとってのノンアルコール飲料とは～飲酒欲求の低減を目的としたノンアル使用の是非～
○竹田（たけだ） 啓太（けいた）
医療法人 三交会 三交病院

S11-6 烏山版架け橋プロジェクトにて総合病院の身体科から精神科病院に繋がったものの予後調査〈第二弾〉
○水野（みずの） 有紀（ゆうき）[1]、安藤　睦実[2]、木下　隆盛[1]、葎口　由紀[1]、二宮　健一[1]、常岡　俊昭[1]
昭和医科大学烏山病院[1]、昭和医科大学横浜市北部病院[2]

スライド発表16

15:50～16:50　作業療法②

座長：門脇　　高（医療法人白日会 黒川病院 作業療法士）

S16-1 精神科作業療法士における身体的支援への苦手意識と実践意欲のギャップ―実践力強化に向けた課題への取り組み―
○北川（きたがわ） 貴也（たかや）
医療法人社団五風会さっぽろ香雪病院 リハビリ科

S16-2 継続的な目標確認が良好なコミュニケーションに繋がった取り組み
～「頑張るぞシート」を活用して～
○高橋（たかはし）美帆子（みほこ）、駒野　郁美、稲葉智恵里
医療法人 至誠会 長岡保養園

S16-3 幻聴に対する認知行動療法を作業療法が補完した統合失調症２症例の検討
○舘（たち）　仁志（ひとし）、野倉　克利
医療法人 積仁会 岡部病院 地域利用部 作業療法科

S16-4 慢性期統合失調症入院患者に対しメタ認知トレーニングを実施した事例
○益田（ますだ） 理永（りえ）、秋山竜太郎
医療法人 永寿会 恩方病院

S16-5 精神科病棟長期入院患者に対する二重課題プログラムの転倒予防効果の検討
○越後（えちご） 亮介（りょうすけ）、能村　和宏、正司　　薫、伊藤　雄大、谷　久瑠美、福島　　優
医療法人社団 青樹会 青和病院

S16-6 精神科訪問作業療法における在宅支援～買い物支援を通じて活動範囲と主体性の向上がみられた症例～
○早川（はやかわ）さやか、五位野敏江
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 よねやま訪問看護ステーション

スライド発表21

17:00〜18:00　行動制限最小化、医療安全・リスクマネジメント

座長：上村　　隆（医療法人水明会 佐潟公園病院 理事長）

S21-1　行動制限減少に至った若手の気持ちの変化

○久保　雅邦[1]、岡崎　靖弘[1]、山本　泰雄[2]
医療法人 紀南会 熊野病院[1]、鈴鹿医療科学大学[2]

S21-2　認知症治療病棟における定期カンファレンス導入による身体拘束減少への取り組み

○近藤　達也、柴田　絵美、渡辺　多恵
医療法人社団啓愛会小矢部大家病院

S21-3　安心ベルト使用時間減少に向けた取り組み

○土田　昭彦
医療法人 白日会 黒川病院

S21-4　精神科病院における胸腹部CTの被ばく線量と画質の最適化

○倉谷　詩織
社会医療法人 居仁会 総合心療センターひなが 検査課放射線係

S21-5　CVPPP院内研修の効果と今後の研修のあり方について〜修了者へのアンケート結果と、職員の被暴力件数より考察〜

○安達凌太郎、長船　孝通
医療法人古橋会 揖保川病院

S21-6　AIを活用したインシデント解析による重大事故防止へのアプローチ

○小畑　晶宏
明心会 柴田病院 看護部

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　第 8 会場（2F 201B）

スライド発表 7

13:30〜14:30　精神保健福祉士業務

座長：山本裕美子（医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 精神保健福祉士）

S07-1　入院者訪問支援事業の展望と課題―２年間の札幌市の実践から得られた制度的示唆―
○尾形多佳士（おがたたかし）
医療法人盟侑会 島松病院

S07-2　若年性認知症の診断後支援 ～介入率50％の実態と課題～
○黒田　実沙（くろだ　みさ）、金丸　友香、渡邉　文武、武地　　一、水野　　裕
医療法人生生会 まつかげシニアホスピタル

S07-3　療養病棟における家族教室の実践～精神保健福祉士の役割の再確認～
○深田　尚子（ふかだ　しょうこ）、谷内　　碧、国下　淑代
医療法人積仁会 岡部病院 地域医療部 医療福祉相談課

S07-4　地域の高齢化に伴う精神科退院支援の現状と課題 ～当院における2013年度と2025年度のデータ比較からの考察～
○柴田　颯也（しばた　そうや）、渡邊　宜子、田中　紀子、山田　圭太、神田　洸樹、五十嵐恵子
医療法人社団敬成会 白根緑ケ丘病院 医療相談室

S07-5　急性期病棟における身寄りなき認知症高齢者へのPSWのかかわりについて～令和６年能登半島地震の経験から～
○奥村　麻鈴（おくむら　まりん）
医療法人積仁会 岡部病院 医療福祉相談課

S07-6　多問題を抱える患者の退院支援
○川上　博史（かわかみ　ひろし）
医療法人 至誠会 長岡保養園

スライド発表12

14:40〜15:40　統合失調症

座長：渡邉　純蔵（医療法人社団敬成会 白根緑ヶ丘病院 副院長）

S12-1　超長期未治療統合失調症の治療導入にブロナンセリン貼付剤が有用であった症例
○萩野谷真人（はぎのやまさと）
医療法人直志会 袋田病院

S12-2　脳の変化を可視化してアセスメントを再構成し統合失調症ケアを改善する
○瀧野　鮎子（たきの　あゆこ）[1]、大塚　恒子[2]
一般財団法仁明会 仁明会病院[1]、一般財団法人仁明会 精神衛生研究所[2]

S12-3 妄想思考と病識欠如の著しい統合失調症患者とのコミュニケーション～LEAPを活用して～
○田中（たなか）　沙織（さおり）、廣瀬　元人
医療法人積仁会 岡部病院

S12-4 統合失調症患者に対するアンガーマネジメント教育の有効性～「怒り」と向き合う力を育てる～
○名渕（なぶち）　悠李（ゆり）、西宮　星澪
特定医療法人清和会 鹿沼病院 看護部

S12-5 CT-Rによる認知的概念化とリカバリーマップの共有が支援環境を変えた統合失調症の一例
○吉田（よしだ）　玲夫（れいお）
医療法人社団吉田会吉田病院

S12-6 「統合失調症患者への外来栄養食事指導の取り組み～２症例を中心に～」
○谷口（たにぐち）　真美（まみ）
医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

スライド発表17

15:50～16:50　精神療法・認知行動療法、集団療法・SST、その他

座長：安田　　重（一般社団法人安田博愛会 安田病院 理事長・院長）

S17-1 他者依存性の高い女性患者を４名の心理師で担当した事例報告
○久保（くぼ）　亜弓（あゆみ）、本田　葉菜、武田　拓也、米村なつみ、寺本　英巳
医療法人香流会 紘仁病院

S17-2 認知症急性期治療病棟における現実見当識訓練の効果について
○工藤（くどう）　莉歩（りほ）
医療法人社団高仁会 戸田病院

S17-3 アルコール依存症患者におけるSMARPP脱落要因の検討
○林山（はやしやま）　佳樹（よしき）、石谷　静江、大石　博子、寺本　英巳
医療法人香流会 紘仁病院

S17-4 スリー・ステップス・モデルを用いたリワークプログラムの取り組み
○関（せき）　芙美（ふみ）
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院

S17-5 「褒め上手・聞き上手」を目指した精神科看護師へのSST研修―現場の困難事例から生まれた４ステップ研修の実践報告―
○小泉（こいずみ）　快（かい）[1]、安西　信雄[2]、小倉加奈子[1]、堺　　高興[1]、宮田　直樹[1]、笹目　裕夢[1]、
太田　成美[1]、三和　栞里[1]、赤尾　優綺[1]、片山　成仁[1]
医療法人社団成仁 成仁病院[1]、帝京平成大学大学院[2]

S17-6 更生保護施設入所者への精神科医療の経験～本邦唯一の更生保護法人の精神科病院として～
○細田（ほそだ）　千尋（ちひろ）[1]、小林　　聡[2]、根岸　弓子[3]、足立　芙美[1]、鈴木　　龍[1]、猪股　弘明[1]、
田村　由江[1]
更生保護法人鶴舞会 飛鳥病院 精神科[1]、更生保護法人鶴舞会 更生保護施設[2]、
更生保護法人鶴舞会 飛鳥病院 医療相談室[3]

スライド発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第１日目　第９会場（2F 201A）

スライド発表13

14:40〜15:40　気分症、児童・思春期、その他

座長：村松公美子（医療法人社団敬成会 白根緑ヶ丘病院）

S13-1　高齢者抑うつにおける抗うつ薬反応不良を契機に双極性素因を考慮しリチウムが奏功した一例
○宮野（みやの）　康寛（やすひろ）
薫風会山田病院 精神科

S13-2　クエチアピン徐放製剤の長期使用によるリカバリーの可能性を考える
○阿部（あべ）　恭久（やすひさ）
医療法人山田会 八代更生病院

S13-3　保護者の精神的健康度と子どもの心理社会的機能との関連―児童思春期支援指導加算を活用した親子支援の検討―
○福山（ふくやま）　悦文（よしふみ）
医療法人社団 成仁 成仁病院

S13-4　全緘黙状態を呈した場面緘黙症の治療経験
○譜久原（ふくはら）　弘（ひろし）、名城　卓哉
医療法人 陽和会 南山病院

S13-5　精神科病院における強度行動障害に対する院内回診の試み 強度行動障害に対する医療の質の向上を目指して 小山千恵 高畑恵未
○小山（こやま）　千恵（ちえ）、高畑　恵未
医療法人友愛会 千曲荘病院

S13-6　精神科療養病棟における看護補助者が受けるクレームの特徴と対応の実態
○末原（すえはら）千穂乃（ちほの）、永坂　　徹、楠　　高志
医療法人純和会 矢作川病院

スライド発表18

15:50〜16:50　退院支援、退院後支援

座長：古谷　拓真（医療法人水明会 佐潟公園病院 精神保健福祉士）

S18-1　治療的グループ体験を促進するためのゲーム・軽スポーツ プログラムの基本設計について
○加藤（かとう）　　億（やすし）
医療法人責善会村上はまなす病院

S18-2　地域移行機能強化病棟の取り組み
○宮前（みやまえ）　由佳（ゆか）、山本裕美子、谷野亮一郎
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院

S18-3　ピアサポーターと連携した取り組みが長期入院者の退院に繋がった事例

○小川（おがわ）　桃加（ももか）、木平　裕太
特定医療法人社団千寿会三愛病院 リハビリテーション科 精神科作業療法室

S18-4　パーソナリティ特性を持つ患者との退院支援について～関係性の揺れと支援者の関わりの変化～

○白倉（しらくら）　春花（はるか）
社会医療法人 崇徳会 田宮病院 地域支援事業部 地域生活支援室

S18-5　精神科訪問看護・指導における生活状況・症状管理の自己評価と自己効力感の変化―5 事例の記述的検討―

○佐藤（さとう）　寛幸（ひろゆき）
社会医療法人崇徳会 田宮病院

S18-6　学生期患者における訪問看護の可能性

○山田（やまだ）　千尋（ちひろ）、五位野敏江
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 よねやま訪問看護ステーション

プログラム

ポスター発表

ポスター発表

第15回日本精神科医学会学術大会

第 1 日目　ポスター会場（1F 展示ホールB）

ポスター発表 1

13:30〜14:30　**法と精神医学、病院管理、精神科慢性期医療**

座長：武田龍太郎（医療法人社団慶神会 武田病院 理事長・院長）

P01-1　専攻医の精神鑑定経験について ―鑑定助手としての役割、実績

○脇上菜々子[1]、吉濱　淳[1]、松田ひろし[1]、片山　成仁[2]
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院[1]、医療法人社団 成仁病院[2]

P01-2　刑事司法分野における検察官と精神科医師等との連携強化に向けた新潟地検の取組 ～刑事精神鑑定研究会～

○渡邉　友広[1]、朴　秀賢[2]、松田ひろし[3]、吉濱　淳[3]、丸山　直樹[4]、金子　尚史[5]、
宮本　忍[6]、西田　公彦[7]、大屋　未輝[8]
新潟地方検察庁[1]、新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 精神医学分野[2]、柏崎厚生病院[3]、
田宮病院[4]、南浜病院[5]、黒川病院[6]、高田西城病院[7]、新潟医療福祉大学[8]

P01-3　当院における監視カメラ設置による虐待心理への抑制効果

○野村　真季、橋野　文子
聖志会 渡辺病院 看護部

P01-4　慢性期精神科入院患者における血清蛋白分画の特徴と経時的変化― アルブミンおよびA/G比の検討 ―

○清野　友希、菊池　章、寺尾　敦、羽岡　健史、商　真哲、成島　直紀、石藏　勇基、
末吉　利成、日浦　悠斗、辻　利佳子、馬渕　有斗、若月　裕己、大川　敦也
浦和神経サナトリウム 医局

P01-5　統合失調症患者における歩行訓練の効果

○鏡味　良太、伊奈比呂子、寺本　英巳
医療法人 香流会 紘仁病院 看護部

P01-6　精神療養病棟における倫理的ジレンマへの取り組み～事例検討がもたらす看護ケアの質の向上と職員の陰性感情の軽減効果～

○石森　陽子、小山　昌之、霜田ゆきえ、阿部　亮
医療法人 明生会 関病院

ポスター発表 2

13:30〜14:30　チーム医療

座長：藤井三寿代（社会福祉法人金沢市民生協会 ときわ病院 看護師）

P02-1　認知症患者リハビリテーション料導入によるリハ職の退院支援参画の定着についての報告
○若井（わかい）　貴志（たかし）、吉濱　　淳、福島　直美、野島　　学、波形　夏紀
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

P02-2　精神科病院における臨床倫理カンファレンス定着への取り組み〜倫理的風土形成に向けた組織変革のプロセス〜
○小川（おがわ）　園美（そのみ）、清水　陽平、薮内　祐介、鈴木　大輔、中島　公博
医療法人社団五稜会病院

P02-3　減量支援を目的とした多職種協働による運動プログラム導入の取り組み〜心と身体をととのえる佐潟時間〜
○眞田（さなだ）　里美（さとみ）、田辺　崇司、金子　俊介、塚田　美和
佐潟公園病院

P02-4　精神科病棟での終末期看護をよりよく行うために
○加羽（かば）　和希（かずき）
医療法人財団仁医会 都南病院

P02-5　精神科療養病棟でリーダー看護師が行う情報収集業務の改善効果
○福田（ふくだ）　智也（ともや）、佐々木省吾、藤井　大士
特定医療法人朋友会 石金病院

P02-6　衝動性が顕著な症例に対する身体合併症へのアプローチ
○松崎（まつざき）　秀隆（ひでたか）、島村　　薫、浦田さや香、中島　祐介、田尻　文子、小山　裕子、梶谷　康介
医療法人せいわ会 みなかぜ病院

ポスター発表 3

13:30〜14:30　精神科入院外医療、薬剤師業務、栄養士業務・NST

座長：庭野弥栄子（医療法人社団敬成会 白根緑ヶ丘病院 管理栄養士）

P03-1　当院における外来・入院患者構成の十年変化：地域移行政策下における非都市部精神科病院の役割変化
○杉盛（すぎもり）　千春（ちはる）、城座みどり、川尻　良太、浦田　克己、秋山　典子、小林　克治
医療法人社団澄鈴会 粟津神経サナトリウム

P03-2　ビペリデン供給停止に伴う処方変更の実態
○中村（なかむら）　　暁（さとる）
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 薬局

P03-3　低栄養診断（GLIM基準）による患者への食事支援
○吉田（よしだ）　　恵（めぐみ）
万成病院

P03-4 後屈姿勢になり誤嚥性肺炎に至った認知症患者の食事支援～ポジショニングで自力摂取できるまで～
○多田（ただ）　茂伸（しげのぶ）、中村　清子、石田真理子、佐藤　由美、松本かずみ、宇治　宏美
医療法人社団更生会 こころホスピタル草津

P03-5 統合失調症患者の筋緊張に対するポジショニング介入が栄養状態に及ぼす影響について
○関戸（せきど）　葉子（ようこ）[1]、越後　和恵[1]、神野　俊介[2]
岡部病院 診療部 栄養科[1]、一般社団法人オーディナリーライフ[2]

P03-6 the joy of eating!! ～行事食がつなぐ四季と心のケア～
○椿（つばき）　瞳（ひとみ）、北原エリカ、関　俊也
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 栄養科

ポスター発表 4

13:30～14:30　看護師・介護士業務

座長：福島　直美（社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 看護師）

P04-1 精神科閉鎖病棟に勤務する看護師の患者を知りたいと志向するknowingの発動に影響する環境要因
○松本（まつもと）　有希（ゆうき）、清水　隆裕、入江　拓
聖隷クリストファー大学 看護学部 精神看護学領域

P04-2 精神科における危険物取り扱いに対する認識調査
○長原（ながはら）　梢（こずえ）、岡田　悟、中粉恵里奈、岩崎　優未
医療法人明生会 関病院

P04-3 精神科病棟看護師のストレス要因とストレス対処行動の特徴
○諏訪間莉菜（すわまりな）、五十嵐沙季
医療法人責善会村上はまなす病院

P04-4 精神療養病棟のうち閉鎖病棟における看護師による病棟規則の運用判断に関与する要因
○高木（たかぎ）　悟（さとる）、清水　隆裕、入江　拓
聖隷クリストファー大学 看護学部

P04-5 体験を語り、聴くことから始まる虐待防止～障害者虐待防止法下における体験共有型カンファレンスの実践～
○森田（もりた）　智也（ともや）、鳥越　笑子、西川　大幹
総合心療センターひなが

P04-6 精神一般病棟において児童思春期患者への関りで抱く看護師の意識調査
○植木（うえき）　真美（まみ）、岡本　綾香、宮崎　知子、岡田　悟、霜田ゆきえ、阿部　亮
医療法人明生会関病院

ポスター発表５

13:30〜14:30　精神保健福祉士業務、労働衛生管理（働き方改革）、ICTの活用と電子カルテ

座長：須藤　康彦（医療法人須藤会 土佐病院 理事長・院長）

P05-1　支援の空白を埋める精神保健福祉士の直接的介入

○中田（なかだ）　篤志（あつし）[1]、坂本　晋也[2]、飯塚　克也[3]、清水　大輔[3]、佐藤　千尋[3]、大谷　清美[3]、
田中　康文[3]、高橋　　雄[4]、猪熊　夕紀[5]、鎌塚　建司[1]、服部　真弓[2]
（医）中沢会 上毛病院 医療福祉相談室[1]、（医）中沢会 上毛病院 精神科[2]、
（医）中沢会 上毛病院 看護部[3]、（医）中沢会 上毛病院 リハビリテーション部[4]、
（医）中沢会 上毛病院 栄養課[5]

P05-2　職員の腰痛予防を契機としたノーリフティングケア概念定着への１年間の歩み―健康管理担当と現場が一体となった実践報告―

○吉田（よしだ）　敬子（けいこ）[1]、神野　俊介[2]、石代　昌宏[1]、西山あゆみ[1]、田中　靖子[1]、廣瀬　元人[1]、
青野　弘文[1]、細江正太郎[1]、村田　則正[1]、関戸　葉子[1]、嶋田　貴充[1]、前田　義樹[1]
医療法人 積仁会 岡部病院[1]、一般社団法人オーディナリーライフ[2]

P05-3　作ってみたLLMと数理最適化を併用した看護師勤務表自動作成システムの構築

○須藤（すとう）　康彦（やすひこ）
医療法人須藤会 土佐病院 理事長・院長

P05-4　紙カルテからの脱却と医療DX：フルクラウド型電子カルテにおける可用性と高セキュリティの実践

○富田（とみた）　明男（あきお）[1, 2]、三田村順二郎[1]
医療法人財団緑雲会 多摩病院[1]、株式会社明和[2]

P05-5　精治寮病院における電子カルテ導入について

○肥田（ひだ）　尚貴（なおき）[1]、倉嶌　綜馬[2]
精治寮病院 事務部[1]、医療法人交正会 情報システム課[2]

ポスター発表６

14:40〜15:40　認知症・高齢者医療①

座長：川村　憲市（医療法人鈴桜会 鈴鹿さくら病院 理事長・院長）

P06-1　原発性進行性失語における言語特性 ―SLTAによる検討―

○和泉美和子（いずみみわこ）[1]、小森憲治郎[2]、丸山　志織[1]、今井　恭代[1]、田澤　悠里[1]、田中　　弘[3]
三島病院 神経心理科[1]、愛媛県認知症疾患医療センター十全ユリノキ病院医療福祉相談室[2]、
三島病院 精神科[3]

P06-2　交叉性失語症患者への関わり

○新井（あらい）　哲也（てつや）、吉井　宏和、福島　康彦、大川　愼吾、大植　正俊
医療法人社団 俊仁会 大植病院

P06-3　幼少期逆境体験を有する早発性アルツハイマー病型認知症の１例

○小川（おがわ）　彰啓（あきひろ）[1]、川又多鶴子[2]、松崎　　愛[2]、吉田　湖太[2]、脇上菜々子[1]、松田ひろし[1]
柏崎厚生病院 精神科[1]、柏崎厚生病院 検査科[2]

P06-4 カンフォータブル・ケアを基盤とした患者中心ケア形成―拒食を呈した認知症患者への関わりを再分析して―
○金子（かねこ） 香織（かおり）、曽田まゆみ
三島病院

P06-5 BPSDを呈する認知症患者に対するひもときシート活用の有用性
○板橋（いたばし） 希（のぞみ）、小山 航平
医療法人群栄会 田中病院

P06-6 認知症治療病棟における身体的拘束最小化に向けた取り組み―多職種による毎日評価の導入を通して―
○福島（ふくしま） 直美（なおみ）、吉田 美香、若井 貴志
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

ポスター発表 7

14:40〜15:40 認知症・高齢者医療②、物質使用症／嗜癖行動症①

座長：飯島 徳哲（医療法人純和会 矢作川病院 理事長）

P07-1 反復性うつ病として加療されていた行動障害型前頭側頭型認知症疑いの一例
○船越（ふなこし） 基裕（もとひろ）、中島 公博
医療法人社団 五稜会病院

P07-2 神経梅毒により辺縁系脳炎および正常圧水頭症を呈した若年発症認知症の１例
○三浦（みうら） 現（げん）[1]、小幡 尚輝[2]、寺島 健史[3]、村竹 佑太[2]、入江 舜[2]、渡部雄一郎[2,4]、吉濱 淳[1]、松田ひろし[1]
柏崎厚生病院[1]、新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 精神科[2]、
新潟大学地域医療教育センター魚沼基幹病院 脳神経内科[3]、
新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野[4]

P07-3 認知症の重症度に合わせたグループの存在が個人に与える影響について
○田村（たむら） 奈央（なお）、萬山 花音、青島 凛、高木 鈴子、小野 信周
医療法人水の木会 萩病院

P07-4 当院認知症疾患治療センターにおける初診患者の動向
○野村健太郎（のむらけんたろう）、小川 彰啓、吉濱 淳、松田ひろし
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

P07-5 回復者であることが誇りになる地域創生～依存症ビレッジの試み～
○常岡（つねおか） 俊昭（としあき）[1]、山田 真理[1,2]、熊田 貴之[3]、田中 紀子[4]、佐々木 広[5]、出町 徹也[6]、塚越 拓美[7]、仲道 美里[4]
昭和医科大学精神医学講座[1]、昭和医大学烏山病院[2]、
医療法人ディープインテンション 日吉心療所[3]、
公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会[4]、
一般社団法人グレイス・ロード[5]、多摩あおば病院[6]、ASK依存症予防教育アドバイザー[7]

P07-6　アルコール依存症治療における病院間オンライン合同ミーティングの実践―共同プログラムによる回復支援ネットワークの拡張―

○古谷真由美（ふるやまゆみ）
医療法人財団厚生協会東京足立病院 看護部

ポスター発表 8

14:40〜15:40　物質使用症／嗜癖行動症②、統合失調症

座長：阿部　亮（医療法人明生会 関病院 理事長・院長）

P08-1　当院の自助グループへ参加しているアルコール依存症患者の断酒維持・精神健康に与える影響の検討

○貴船（きふね）　翠（みどり）、山田　真弓、寺本　英巳
医療法人香流会 紘仁病院

P08-2　スーパー救急病棟におけるギャンブル依存症患者への入院支援 ―ギャンブル依存症患者にとって入院加療はギャンブルか―

○徳永（とくなが）　舞子（まいこ）[1]、田中　直[1,2]、木下　隆盛[1]、伊藤　歩美[1]、奥津　奏[1]、常岡　俊昭[1]
昭和医科大学烏山病院[1]、昭和医科大学大学院 保険医療学研究科 臨床ケア開発学領域[2]

P08-3　統合失調症患者の口腔内の状態とBMIとの関連について

○小田江美玲（おだえみれ）[1]、松田ひろし[1]、多部田康一[2]、宮沢　春菜[3]
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院[1]、
新潟大学大学院 医歯保健学研究科 歯周診断・再建学分野[2]、
新潟大学医歯学総合病院 臨床研究推進センター[3]

P08-4　「その人らしさ」に寄り添う看護、思いやりの心〜飢餓状態を伴う緊張型統合失調症の回復過程に寄り添った経験から〜

○伊藤（いとう）　綾子（あやこ）、石田　知久
桶狭間病院藤田こころケアセンター

P08-5　統合失調症における精神症状と社会機能の関連―PANSSを用いた多角的アプローチ―

○嶋田（しまだ）　貴充（たかみつ）[1]、坂口俊太郎[1]、小林　玄洋[1]、佐伯　善洋[1]、森　貴久[1]、近澤　一夫[1]、
水腰千佳子[1]、長谷川　充[1]、前田　珠美[2]、前田　義樹[1]
医療法人積仁会 岡部病院[1]、医療法人社団 岡部診療所[2]

P08-6　クロザピン服用患者における流涎量とN-デスメチルクロザピン血中濃度との関連性―問診表を用いた検討―

○澁谷（しぶや）　雅子（まさこ）、小潟　佳輝、鎌田　建、藤田　知子、金子　尚史
恵生会 南浜病院

ポスター発表９

14:40〜15:40　食行動症／摂食症、児童・思春期、神経発達症

座長：駒橋　　徹（鹿沼病院 理事長・院長）

P09-1　長期経過の神経性やせ症に食道狭窄を合併した１例

○柞木田（たらきた）なつみ、深澤　　隆
医療法人財団青仁会 青南病院

P09-2　起立性調節障害（OD）に伴う睡眠不調に対する睡眠検査の有用性の検討

○加藤之喜枝（かとうゆきえ）、小田　由美、伊藤　桃子、中島　公博
医療法人社団 五稜会病院 検査室

P09-3　思春期における自閉スペクトラム症傾向者のP-Fスタディ反応特徴の検討 ―当院思春期外来における量的・質的分析から―

○土屋（つちや）　香奈（かな）[1,2]、高橋　聡子[1]、井上　文枝[1]、増澤　菜生[2]、青山　雅子[2]
佐潟公園病院 臨床心理室[1]、佐潟公園病院 思春期・青年期外来[2]

P09-4　10代のゲーム行動症に対する精神科救急急性期入院治療プログラムの現状と課題

○林口（はやしぐち）　　礼（あや）、野村　昂樹
総合心療センター ひなが

P09-5　てんかん発作のコントロールがADLおよび精神症状の改善に有用であった重度知的発達症とてんかんの三姉妹例

○赤羽（あかはね）　学爾（がくじ）、橋本　泰斉、小川　彰啓、脇上菜々子、三浦　　現、長谷川宝史、野村健太郎、吉濱　　淳、松田ひろし
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

ポスター発表10

14:40〜15:40　作業療法

座長：伊東　明子（医療法人三交会 三交病院 作業療法士）

P10-1　運動習慣のない精神疾患患者に対して行動科学的アプローチを用いた効果～運動習慣定着を目指して～

○窪（くぼ）　　祐樹（ゆうき）
社会福祉法人 天心会 小阪病院

P10-2　認知症支援の空白期間を埋める外来精神科作業療法の実践

○原田（はらだ）　一樹（かずき）、吉田　毅史、水谷　朋子、池田　裕大
医療法人生生会 まつかげシニアホスピタル リハビリテーション科

P10-3　「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に当院作業療法士は何ができるか？

○宮本（みやもと）　泰絵（やすえ）、田村　　徹、安食　史絵、品田　早苗
新津信愛病院

P10-4 当院の外来作業療法新規利用者数の経時的変化とその要因―外来作業療法につながりやすい仕組みの検討―

○向井佑果子（むかいゆかこ）
桶狭間病院藤田こころケアセンター

P10-5 外来患者が通いやすい作業療法の場について～利用件数とプログラム環境の変化からの考察～

○丸山（まるやま）　えみ[1]、須田久仁子[1]、岡田　裕樹[1]、多川　凛香[1]、佐藤みなみ[2]
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 リハビリテーション部[1]、
社会医療法人立川メディカルセンター 介護老人保健施設 米山爽風苑[2]

P10-6 憧れのチーム“ビューティー４”の成り立ち～棟外グループ活動を契機とした生活の広がりの報告～

○後藤（ごとう）　優（ゆう）[1]、平原なつき[3]、北原　亮[3]、品田　聡子[2]、野島　学[1]、野島　牧[1]
社会医療法人 立川メディカルセンター柏崎厚生病院 リハビリテーション部[1]、
よねやま訪問看護ステーション[2]、介護老人保健施設米山爽風苑[3]

ポスター発表11

15:50～16:50 デイ／ショート／ナイトケア、退院支援

座長：岩野　佑紀／北原　秀人（医療法人三交会 三交病院 公認心理師／医療法人至誠会 長岡保養園 医事課長）

P11-1 地方都市部精神科デイケアにおけるリワーク支援の実践と課題

○竹原亜弥子（たけはらあやこ）、島田　岳、牧　頌悟、遠藤　謙二
医療法人友愛会 千曲荘病院

P11-2 デイケアセンターはなみずきにおける構造化カンファレンスと統合的アセスメントシート導入の実践報告

○岩野（いわの）　佑紀（ゆうき）、内藤　敦子、五十嵐和佳奈、大平　貴史
医療法人社団三交会 三交病院 デイケアセンターはなみずき

P11-3 精神科デイケア通所者における口腔機能評価及び口腔体操の効果の検証

○井戸（いど）　亮太（りょうた）[1]、中西　幹平[1]、泉野　裕美[2]、大川　直美[3]、廣瀬　潤子[4]、井戸由美子[4]
特定医療法人 大阪精神医学研究所 新阿武山病院[1]、大手前短期大学 歯科衛生学科[2]、
あかし保健所 健康推進課[3]、京都女子大学 家政学部 食物栄養学科[4]

P11-4 社会性の発達における当院デイケア・スポーツプログラムの重要性―自閉スペクトラム症をもつ思春期青年３症例の検討―

○増澤（ますざわ）　菜生（ないお）[1]、宗村　恵介[2]、坂本真有子[2]、古谷　拓真[2]
医療法人水明会佐潟公園病院精神科[1]、医療法人水明会佐潟公園病院デイケア[2]

P11-5 精神科長期入院患者にストレングス理論を用いて、退院支援プログラムの導入に向かうまで

○篠田紀一郎（しのだきいちろう）
京都光華大学 看護福祉リハビリテーション学部 看護学科

P11-6 長期入院を経た統合失調症患者の地域移行への取り組み ～宿泊型自立訓練における体験利用から正式入居へのプロセスと課題～

○小黒（おぐろ）　希（のぞみ）[1]、松田ひろし[2]
社会福祉法人晴真会 指定障害福祉サービス事業所 米山自在館[1]、
社会医療法人立川メディカルセンター 柏崎厚生病院[2]

ポスター発表12

15:50〜16:50　薬物療法、精神療法・認知行動療法、心理教育、集団療法・SST、TMS・ECT

座長：橘　　輝（医療法人敬愛会 末広橋病院 院長）

P12-1　マインドフルネスヨガの導入と効果について

○大井（おおい）　志帆（しほ）、前田由香里、白石　　潤
医療社団法人 青樹会 青和病院 看護部

P12-2　退院促進に向けた心理教育プログラムの試み パート12―プログラム終了後の動向―

○大沢（おおさわ）　辰明（たつあき）、渡辺　岳海、白須　千之、荻野　広雅、寺久保　巽、長瀬　輝誼、長瀬　幸弘
医療法人社団 東京愛成会 高月病院

P12-3　急性期治療病棟における多職種協働によるリカバリー志向の集団心理教育プログラムの取り組み

○松井（まつい）　雅貴（まさき）[1]、古川和香奈[1]、西川紗百合[1]、浅井　美里[1]、曽我なるみ[1]、渡瀬　文子[1]、
大岩　由奈[1]、石原　流加[1]、山田　容子[1]、坂本　莉歩[1]、柳澤美貴子[1]、中村　泰久[2]
医療法人交正会 笠寺精治寮病院[1]、
日本福祉大学 健康科学部リハビリテーション学科 作業療法学専攻[2]

P12-4　精神科デイケア未設置病院における外来小集団支援（STEP）の意義―社交不安・ひきこもり傾向にある若年層への多職種アプローチ―

○渡邉（わたなべ）　篤（あつし）、和田　郁子、阿部　美紀、阿部　　亮
医療法人明生会 関病院

P12-5　ラポール・オレキシン受容体拮抗剤睡眠薬（スボレキサント）で性的ファンタジー（幻想）を想起したフロイト型PTSD（神経症）の１例

○末田（すえだ）　耕一（こういち）
日良居病院

P12-6　反復性うつ病に対するrTMS治療における疼痛推移と疼痛に影響する因子についての研究―当院データを用いた後ろ向きコホート研究―

○今村（いまむら）　星玲（せれな）、磯田　和也、後藤　純一、池田　倫子、生駒　由紀、内藤　万純、濱田　美江、
堤　　鈴花、木村　将司、志方　那美、渡井あゆみ、三村絵美子、北村　園子、野田　敬子
社会医療法人佐藤会弓削病院

ポスター発表13

15:50〜17:00　身体合併症、感染症対策、その他

座長：藤枝　信夫（医療法人清風会 清和病院 理事長・院長）

P13-1　身体疾患を有する高齢者におけるステロイド誘発性精神障害―対照的な２症例から考える診断と治療―

○小柳（こやなぎ）　匡相（ただすけ）、深澤　　隆
医療法人 青仁会 青南病院

P13-2 感染対策向上加算２における医療DXを活用した抗菌薬の適正使用監視に伴うラウンド支援の取組み

○和田（わだ）　智仁（ともひと）[1, 7]、山北　茂樹[2, 7]、服部　春樹[3, 7]、嶋村　哲弥[3, 7]、岡田　祐美[4, 7]、田井　葉子[5, 7]、尾上美友貴[3]、栗原　康雄[8]、長田　成巨[6, 7]

社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 診療技術部薬剤課[1]、同 経営企画課[2]、同 看護部[3]、同 リハビリテーション部 作業療法課[4]、同 リハビリテーション部 デイケア課[5]、同 診療部[6]、同 MENTAT委員会[7]、同 医療安全管理室[8]

P13-3 精神科急性期病棟におけるヒトメタニューモウイルス（hMPV）集団発生の経験と感染対策上の課題

○望月（もちづき）　忠憲（ただのり）、高橋　俊充

特定医療法人青山信愛会 新潟信愛病院

P13-4 柏崎地区における自殺の検案事例の検討

○前畑（まえはた）　幸彦（ゆきひこ）[1, 2]

社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院[1]、駅前クリニック 前畑医院[2]

P13-5 柏崎地区におけるアルコール依存症の検案事例

○前畑（まえはた）　幸彦（ゆきひこ）

柏崎厚生病院

P13-6 精神科病院ピアレビューに参加して―当院の取り組みの実際―

○毛見（けみ）　康子（やすこ）、野島　　学、野澤　　瞳

社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

P13-7 精神科病院における精神鑑定のための入院について 現状と課題～一般精神科病の立場から～

○山田（やまだ）　清香（さやか）、遠山由起子、野澤　　瞳、吉浜　　淳

社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

ポスター発表14

15:50～16:50　行動制限最小化、その他

座長：長谷川　淳（医療法人社団和敬会 谷野呉山病院 看護師）

P14-1 隔離処遇の外国人患者に対し宗教儀式を保障することで隔離解除に至った一事例～１日５回の身を清める行為の実現へ～

○千原（ちはら）　大地（だいち）、佐藤　多海

社会医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院 看護部

P14-2 身体的拘束体験前後における感情変化の分析-患者理解と身体的拘束最小化に向けた示唆-

○河原（かわはら）　　睦（むつみ）、豊田　良行

医療法人群栄会 田中病院

P14-3 行動制限最小化について今一度考える～意識調査を契機とした課題摘出と病棟内の取り組み～

○松山（まつやま）　　耀（よう）、吉岡　和信

医療法人社団 澄鈴会 粟津神経サナトリウム

P14-4 行動制限最小化に向けたカンファレンスが看護職員の認識に与えた影響
○竹谷（たけや）　悠果（ゆうか）
村上はまなす病院

P14-5 虐待に関するアンケート調査から当院の傾向を探る
○岩城（いわき）　佑輔（ゆうすけ）、岡田　智子、長谷川　淳、金和みづほ、田辺　智昭
医療法人社団和敬会 谷野呉山病院

P14-6 精神科病院における「小さな権利侵害をつむ」組織風土の醸成―支援の質向上による権利擁護の実践と現場との対話の軌跡―
○舟田（ふなだ）　淳子（じゅんこ）、長谷川　充、嶋田　貴充、関　　菊乃、梅田　祐子、野倉　克利、西村　繁郷、前田　義樹
医療法人 積仁会 岡部病院

ポスター発表15

15:50〜16:50　医療外支援、災害精神医療、その他

座長：譜久原　弘（医療法人陽和会 南山病院 理事長・院長）

P15-1 病院家族会におけるこれまでの歩みを振り返り、今後目指す姿を考える
○橋本（はしもと）　直子（なおこ）、遠山由紀子、坂井　真理、松田ひろし
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

P15-2 災害時BCP強化における再エネ導入プロジェクト
○中坂（なかさか）　大（だい）[1]、向笠　浩貴[1]、松田　晃平[2]、山本　哲也[2]、北　　哲二[1]
医療法人 向心会 大貞病院[1]、株式会社大林組 エンジニアリング本部 再エネ施設技術部[2]

P15-3 「ただ、いる、だけ」は本当に何もしていないのか―精神看護学実習における非侵襲的ケアの伝え方―
○清水（しみず）　隆裕（たかひろ）[1]、高木　　悟[2]、松本　有希[1]
聖隷クリストファー大学 看護学部[1]、
聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科 博士前期課程[2]

P15-4 柏崎厚生病院における心理職の心理検査業務でのニーズやその変化の有無について
○清水（しみず）　真理（まり）、田邉恵理子、滝田　美夏、西谷　美雪、長谷川美生
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院

P15-5 節電コンペの取り組み
○帆足（ほあし）　竜一（りゅういち）、首藤　美紀、竹本　文也
医療法人 向心会 大貞病院

P15-6 脳波検査の有用性について
○川又多鶴子（かわまたたづこ）[1]、松崎　　愛[1]、吉田　湖太[1]、吉浜　　淳[2]
社会医療法人 立川メディカルセンター 柏崎厚生病院 検査科[1]、同 医局[2]